

人口総数 87,819 世帯数 32,098
男 41,136
女 46,683 面積 17.31km²

発行

芦屋市役所(公聴広報課)
☎0797-31-2121
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号
毎月1日・15日発行

1990年(平成2年)

4月15日号

No. 564

広報あしや

みどりのまちづくりを推進

生け垣の設置・壁面の緑化に市が応援します

緑化基金を活用

四月一日から、大阪・鶴見緑地を会場に国際花と緑の博覧会(花博)が開幕し、「人間と自然の共生」に対する関心が高まっています。本市でも、緑化推進を重要施策と化助成制度をスタートさせました。

生け垣化助成制度とは、壊して生け垣を造る際に、家庭の生け垣を造ったり、工場の費用の一部を市がブロック塀やコンクリート塀など既存の物を取り、この制度は、一昨年から



制度対象は、市街化区域内の住宅敷地に適用されます

あしやグリーンフェア90の開催

市と緑化協会では、市制五十周年を記念して、「花と緑にあふれる街・芦屋」花と緑の即売会をテーマに、あしやグリーンフェア'90を開催します。四月二十八日(土)から三十日(月)午前十時午後五時、まで高浜町一〇の空き地(県住宅供給公社駐車場東側、五メートル以上)の木を延長一メートルにつき三本以上植えること。ネットフェンスなど透視性のあるものを併設してもよい。

重度障害者を対象タクシ-の基本料金等を助成

市では、平成二年四月から、電車・バスなどの通常交通機関の利用が困難な在宅の重度障害者に対して、タクシ-基本料金(年四十八回)またはそれに変わるガソリン代月額千円を助成します。

対象工事	助成限度額	工事費の算定基礎
生け垣を造る場合	工事費の二分の一まで	生け垣の延長一メートル当たり一万四千円まで
ツタなどを塀にはわす	工事費の二分の一まで	塀の延長一メートル当たり七千円まで
ブロック塀などを壊して造る場合	工事費の二分の一まで	塀(生け垣の範囲)の延長一メートル当たり六千円まで

(※助成額は千円未満は切り捨てます)

ご注意!! 電話機の訪問販売

悪質な手口——NTTと錯覚させる

市消費生活センターに寄せられる相談の中で、電話機の訪問販売に関する相談が、前年度の四件から平成元年度は十件と増加しています。

なお、クーリング・オフ期間が過ぎていて、業者と交渉する余地がある場合もあります。また一方、クーリング・オフ期間が過ぎていて、業者と交渉する余地がある場合もあります。また一方、クーリング・オフ期間が過ぎていて、業者と交渉する余地がある場合もあります。

市消費生活センターに寄せられる相談の中で、電話機の訪問販売に関する相談が、前年度の四件から平成元年度は十件と増加しています。相談者に契約の動機を尋ねますと、「いかにもNTTからきたように錯覚させられた」「黒い電話機はもうすぐ使えなくなるなどと言われた」という事例が五件ありました。

あしやウォール・ペインティング

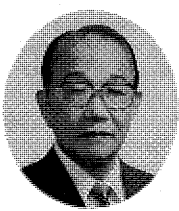
申し込みは4月20日まで

▽五月三日(木)午前十時から、旧芦屋浜防潮堤壁面。▽申し込みは、実行委員会(☎2121内線204)まで。

花に思う

花と緑と人間生活の調和をテーマに、「国際花と緑の博覧会」が、大阪・鶴見緑地で盛大に開催され、注目されています。

先日、三日目のさくらまつりを催すことができました。協議会や関係者の皆さんに心からお礼を申し上げます。



市長随想

健康と心

健康と心。花を愛する人に悪い人はいないといわれますが、すべての人が、花を愛する心に結集できたら、どんなに素晴らしい社会になるでしょう。花に思いは尽きません。

(芦屋市長 山村康六)



さくらまつり、野だても好評でした

生涯学習の基礎づくり



自然の中で豊かな体験を(三条小セカンドスクール)

4月1日号で、本市の平成2年度施政方針を発表しましたが、市教育委員会関係の主要施策について、学校教育を中心に概要をお知らせします。

主要施策

「習う側の立場に立った教育」の充実に向けて

自然体験活動の充実

自然にふれる機会が少なくなつた子供たちに自然体験をと始まった「セカンドスクール(自然学校)」は、昨年度小学校

全校と潮見中学校が実施しました。

各学校とも特色のある内容で、校内では得られない体験を通して自立心や豊かな心をはぐくんでいきます。よりいっそうの充実を図ります。

国際理解教育の推進

国どうしがお互いの習慣や文化を理解しあい、交流を深める教育の国際化が大切な時代になってきました。

昨年十二月には、前年に続き二人の市立芦屋高等学校生が姉妹都市モンテペロ市を訪問し、貴重な体験をしてきました。今年度も引き続き二人の生徒を派遣します。外国人講師とともに学習する外国語の授業も、魅力あふれる講師による授業をさらに進めます。

幼稚園三十五人学級の実施

本市においては、四歳児の二年保育が他市に先駆けて実施されてきました。小・中学校は来年度全学年が四十人学級になります。

学校園花いっぱい活動の推進

花の世話をし、花の美しさや命の尊さを知ることとを大切にして、「花と緑の学校園づくり」を進めてきました。

素晴らしい学校や幼稚園がふえ、昨年度も、全国や県のコンクールに十校園が入賞しました。

連合体育大会の実施

たくましい芦屋っ子づくりをめざして、昨年度市内小学校六年生が参加する「小学校連合体育大会」を実施しました。今年度は、小・中学校それぞれの連合体育大会を目指します。

生涯学習のまちづくりの推進

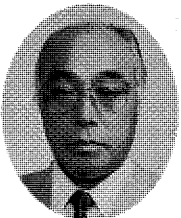
変化の激しい現代社会に適應するためには、市民の学習や地域活動を通じて、心豊かで明るく住みよい地域社会へと発展することが大切です。そのため市民の学習や地域活動に対する支援を



老人クラブによる歌劇「大黒様」の演技

学校・家庭・地域社会の連携を

芦屋市教育長 松本 壽男



昭和六十一年七月に就任以来、三年半、「取り戻そう芦屋の良さと教育」という市長の公約を受け、特に学校教育を中心に、保護者・市民に理解される教育の実現に向けて努めてまいりました。

その間、一貫して人間尊重の教育を目指し、「習う側の立場に立った教育内容の充実」を提唱してきております。保護者・市民のかたがたのご協力・ご理解と学校関係者の努力とによって、学校が活性化してまいりました。

時あたかも臨時教育審議会答申を初めとして日本の教育改革が打ち出された時であり、また世界では、個人の生きがいの持てる社会の実現をめざした大きな流れも重なってきた時でもあります。これからの教育は、家族関係

や社会構造の変化を踏まえた柔軟な発想が必要となります。今日、学校・家庭・地域社会それぞれがもっている教育機能をいっしょにつけを行うとともに、主体的に生き抜く力や学ぶ意欲を個性的に培う基盤ともなる場として、大切な役割を担っています。

また、社会教育は、社会環境の急速な変化に対応し、文化・スポーツなど幅広い学習機会の提供や、学習相談・情報の提供をうけ、自分にあつた学習を進めていく場であり、また、本市の生涯学習の基本方針として、自己学習が相互学習へと、さらにコミュニティづくりへと発展することを目標に、家庭教育・学校教育・社会教育の相互連携のもとに生涯学習の推進を図ってまいります。

今後とも、家庭・地域の側からご協力をお願いいたします。

「協力し、友達いっぱいつくろうよ」

宮川小学校(前)6年 寺岡 知香さん

(「差別をなくそう県民運動」募集作品)

に反映するなど、市民の学習の場と機会の充実を図ります。また、小学校を拠点としたコミュニティ・スクールは、地域づくりの原動力としてますます活発な活動が展開されており、今後、学校と地域の連携の下に、活動に対する援助を行います。

この「広報あしや」を公演当日ご持参のうえご来場ください。前売券扱いとします。ご利用ください。

4th Vanguard Jazz Concert

- ホスト 安達 治彦
- 演奏 大塚善章グループ
十川尚子&イフ
- ゲスト キャンディ・浅田



5・19(土)
P.M.6:30

■前売¥2,800
■当日¥3,000



お問い合わせ
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)

このページは市教育委員会総務課(☎2121内線501)で編集しています。



2001年国際文化住宅都市を目指して!

市制施行50周年シンボルマーク

5個の精円は、芦屋のアルファベットの「A」と、50周年の築き上げられた歴史、さらに未来への発展・向上の意味を込めてエレガントにシンボライズしたもの。精円部分の緑は市木クロマツの新芽の、英記号部分は市花コバノミツバツツジの色で表現している。

花ひらく50年、記念事業開幕



市制施行50周年公式ポスター

50周年の歴史の厚みと、現代的な軽み・楽しさの両面から芦屋らしい文化性を表わしたもので、「あしや」の3文字のバックを形成する黒地の象形は、それぞれ衣・食・住のイメージをシンボライズしたものの。

芦屋市は今年で市制施行五十周年を迎えます。十一月十日の記念日には、ルナ・ホールで記念式典を開催するほか、通信衛星を使った国際シンポジウムや写真展「あしや100年」など今年中さまざまな事業を行います。全国有数の住環境を誇って歩んできたこの五十年を振り返りながら、また二十一世紀に向かつて国際性豊かな文化の香り高い新しい芦屋を創造するため、市民の皆様とともに今年を祝い、意義深いものとして考えています。今号では、記念事業の一覧をご紹介します。



9月	8月	7月	6月	5月	4月
<p>■「新芦屋50景」フォトコンテスト(9月15日まで作品募集中)</p> <p>◎9月29日～10月2日◎ラポルテホールほか</p> <p>■ケーキフェア</p> <p>◎9月10日◎市内各所</p> <p>■市民体育祭(冠)</p> <p>各種スポーツ大会・記録会・講習会等市民の健康体力作りと、生涯スポーツに対する理解と関心を深め、スポーツの普及と振興を図る</p>	<p>■サマー・カーニバル(冠)</p> <p>◎8月3日～5日◎ラポルテ前・潮見中学校</p> <p>「音と花火」のショー、交響曲及び吹奏楽の演奏で盛り上げる</p> <p>■芦屋市民ゴルフ大会(冠)</p> <p>◎8月20日◎芦屋カンツリー倶楽部</p> <p>ゴルフ競技を通じて、体力の向上と健康の維持・増進を図り、併せて市民相互の親睦を図る</p>	<p>■あしや100年写真展</p> <p>◎7月25日～8月10日◎市民センター</p> <p>■第5回サマー・ルナ・カレッジ(冠)</p> <p>◎7月28日～29日◎ルナ・ホール</p> <p>「国際社会に生きる日本・日本人」と題しての講演とシンポジウム</p>	<p>■緑化フェア(冠)</p> <p>◎6月2日～10日◎ラポルテほか</p> <p>さつき花季展示会/さつきの魅力を紹介</p> <p>■第43回芦屋市展(冠)</p> <p>◎6月6日～17日◎市民センター</p> <p>芸術・文化の振興を図るため、作品の展示と特別コーナーを設けての展示会</p>	<p>■中国肇慶市物産展</p> <p>◎5月11日～13日◎ラポルテホール</p> <p>■婦人運動会(冠)</p> <p>◎5月23日◎川西運動場</p> <p>■学校スポーツ大会(冠)</p> <p>◎5月17日◎中学校連合体育大会</p>	<p>■緑化フェア(冠)</p> <p>◎4月20日～22日◎市民センター</p> <p>山野草展示会/世界の山野草、ブータンの「青いケシの花」を展示</p> <p>◎4月28日～30日◎高浜町地内</p> <p>植木市/植木等の展示即売</p>

市制50周年記念事業一覧表(4月～9月)

中国肇慶市物産展

■開催日—5月11・12・13日
■会場—ラポルテ・ホール

友好都市提携に向けて交流を深めている中国肇慶市（広東省）から世界最大（全長2メートル）の端溪硯がやってきます。

中国四大名硯の至宝といわれる端溪硯と、宣紙・筆・朱肉・筆立てなどの文房四宝を展示、同時に肇慶市の街並みを紹介する写真展を開催します。

中国の悠久な時間に育まれた芸術品の数々にふれてください。



芦屋市制50周年記念事業 催し物ガイド

問い合わせ 市50周年事業担当
(市企画課内、☎0121内線204)

あしや ウォール・ペインティング

■開催日—5月3日(雨天の場合は4日)
■会場—旧芦屋浜防潮堤(図書館南～芦屋川)

たくさんの方々が参加して街の一角に巨大なアートが出現します。「未来の街」「海」「夢」など自由な発想のもと、あなたも芸術してみませんか。(申し込みは4月20日まで)



あしや100年写真展

■開催日—7月25日～8月10日
■会場—市民センター

精道村から芦屋市へ、鉄道の発達とともに住宅都市として飛躍的な発展を遂げた芦屋。

一枚一枚の写真はまさに芦屋物語。市民の皆さんからご提供いただいた写真を展示します。



昭和30年頃の消防署▶

ケーキフェア

■開催日—9月29・30、10月1・2日
■会場—ラポルテ・ホールほか

芦屋はケーキの街。いろいろなケーキのお店が味や形・色を競っています。

ケーキには、味わう楽しみほかに形や色など、見る楽しみもあります。ケーキが与えてくれる“夢・楽しさ”をいろいろな形で皆さまにお伝えします。



国際シンポジウム 「国際社会に生きる」～21世紀の教育・文化を求めて～

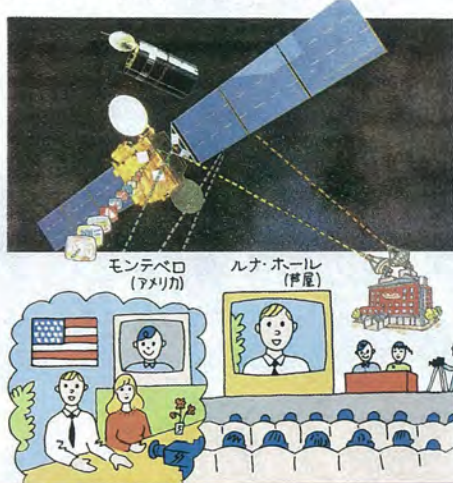
■開催日—10月24日
■会場—ルナ・ホール、ラポルテ・ホール

国際文化住宅都市芦屋にふさわしいイベントとして、通信衛星で芦屋とアメリカを結び、内外の著名人をパネリストに21世紀の教育・文化を語っていただきます。

パネリストには芦屋で青春の一時期を過ごした利根川進氏(マサチューセッツ工科大学教授・ノーベル賞受賞者)、谷崎文学など日本文学の研究で有名なドナルド・キーン氏(コロンビア大学教授)、国際政治学者・高坂正堯(京都大学教授)など、各界を代表するかがたを予定しています。



▲ドナルド・キーン氏
▲利根川進氏



富田碎花賞

■贈呈式—11月3日
■会場—ルナ・ホール

兵庫県文化の父、詩人富田碎花は、岩手県盛岡生まれ、人生の大半を芦屋で過ごしました。碎花の生誕100年を記念し、全国の発行詩集を対象に「富田碎花賞」を創設します。



市民音楽のつどい

■開催日—11月10日
■会場—ルナ・ホール



芦屋市出身の世界的ジャズメン、トランペッターのタイガー大越が来演。本場のジャズを皆さんに楽しんでもらえます。

美術博物館完成記念式典 11月8日

芸術・文化の街芦屋に待望の美術博物館が完成します。

芦屋ゆかりの小出楯重画伯の作品や吉原治良を中心とした具体美術の展示を行います。



11月8日から10日まで開館記念展を行います。

芦屋市制施行50周年 記念式典 11月10日 ルナ・ホール

半世紀にわたる時代の変遷を経て、今「2001年国際文化住宅都市芦屋」への出発を皆さまとともに祝います。

記念イベントとして3面マルチスクリーンいっばいに街の移り変わり、四季の表情を映像と音楽で表現します。



市庁舎完成記念式典 11月10日

芦屋の新しいシンボルが誕生します。

市民の皆さんがより便利にご利用いただけるよう、また市政の核として、今後のO A化にも十分対応できる設備を備えた新庁舎が完成します。市民のかたがたのちょっとしたくつろぎの場にもなるようスペースを配し、親しまれるシティホールを目指します。11月10日の市制記念日にあわせてオープンします。



12月

- 健康・福祉フェア(冠)
- 12月1日・2日◎市民センター
- 児童展(冠)
- 12月5日・17日◎市民センター

11月

- 市制施行50周年記念式典
- 11月10日◎ルナ・ホール
- 市庁舎完成記念式典
- 11月10日◎新市庁舎
- 市民音楽のつどい
- 11月10日◎ルナ・ホール
- 市制施行50周年記念ルナ・ホール協会事業
- 11月25日・12月9日◎ルナ・ホール
- 日本ベタタンク選手権大会
- 11月23日◎中央公園芝生広場
- 全国レベルの大会を今回芦屋市が誘致。
- 市制施行50周年記念植樹
- 11月◎川西町さくら通り・仲ノ池緑地
- 市制施行50周年記念写真集発行(11月10日)
- 同ダイジェスト版発行(11月10日)
- 打出教育文化センター完成(11月)
- 川西線さくら通り完成(11月)

月

- 芦屋美術館めぐり
- 11月1日・15日◎市内各美術館
- 滴翠美術館、エンバ美術館、依美術館、谷崎潤一郎記念館、新美術館
- 富田碎花生誕100年記念
- 11月3日◎ルナ・ホール
- 「富田碎花賞」の贈呈
- 美術博物館完成記念式典
- 11月8日◎美術館
- 芦屋市制施行50周年記念式典
- 11月10日◎ルナ・ホール
- 市庁舎完成記念式典
- 11月10日◎新市庁舎
- 市民音楽のつどい
- 11月10日◎ルナ・ホール
- 市制施行50周年記念ルナ・ホール協会事業
- 11月25日・12月9日◎ルナ・ホール
- 日本ベタタンク選手権大会
- 11月23日◎中央公園芝生広場
- 全国レベルの大会を今回芦屋市が誘致。
- 市制施行50周年記念植樹
- 11月◎川西町さくら通り・仲ノ池緑地
- 市制施行50周年記念写真集発行(11月10日)
- 同ダイジェスト版発行(11月10日)
- 打出教育文化センター完成(11月)
- 川西線さくら通り完成(11月)

10月

- 秋まつり(冠)
- 10月14日◎精道小学校校庭
- みりのりの秋にふさわしく、各地の名産品を即売。だんじり、みこしをメインに
- 国際シンポジウム
- 10月24日◎ルナ・ホール、ラポルテホール
- 学校スポーツ大会(冠)
- 10月◎小学校連合体育大会

月

- 緑化フェア(冠)
- 10月中旬◎市民センター/さつき盆栽展(市民文化祭参加)
- 10月・11月◎芦屋公園/日本の国花「菊」の紹介、野点
- 高齢者スポーツ大会(冠)
- 10月中旬◎岩園小学校校庭
- 芦屋・グランド・ベテラン・テニス大会(冠)
- 10月12日・14日◎芦屋ローンテニスクラブ
- 男子65歳以上、女子55歳以上のテニス愛好家が国内外から320人参加
- 谷崎潤一郎企画展(冠)
- 10月1日・平成3年3月20日◎谷崎潤一郎記念館
- 第6回特別展「谷崎潤一郎と小出楯重」/「夢喰ふ蟲」を中心に谷崎文学を紹介し、同時に谷崎潤一郎と親交のあった小出楯重との接点を通して、芦屋近代文化の一つの核に迫る
- 芦屋市民文化祭(冠)
- 10月5日・11月11日◎ルナ・ホールほか
- 市民の文化の交流と振興、親子参加を主体としたオープニング行事を展開

市制50周年記念事業一覧表(10月～12月)